

日本工学院専門学校		開講年度		2019年度		科目名		ソルフェージュ2			
科目基礎情報											
開設学科		ミュージックアーティスト科		コース名		ヴォーカリストコース		開設期		後期	
対象年次		1年次		科目区分		必修		時間数		30時間	
単位数		1単位						授業形態		演習	
教科書/教材		適宜、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
担当教員情報											
担当教員		塩谷達也				実務経験の有無・職種		有・シンガー／ミュージシャン／ソングライター／プロデューサー			
学習目的											
ベーシックなボイストレーニングエクササイズの再確認をしながら、音程や音階の声による実践、習得に進み、リズムトレーニングやサイトシンギングの実践をし、シンガー／音楽家として必要な技術を習得すること。基礎トレーニングの反復練習の重要性、地道なトレーニングの土台があってこそ応用スキルが身に着くことを徹底して指導する。											
到達目標											
1、自分の声域と声区を知り、腹式呼吸強化のための様々なエクササイズをする。またその呼吸法をどのようにして歌唱の中に活かしていくのか、実際に曲中でそれが出来るようにする。2、音階やハーモニー、リズムを声で表現できる能力を身につける。ルート音を鳴らし、ルートから正確な音程での音階(メジャー、マイナーすべての音階)を導き出せるようにする。また美しいハーモニーを作るために、他の音を聴きながら正しい音程をとることが出来るようにする。											
教育方法等											
授業概要		ストレッチ、カウントプレス、種々のリップロール、数字によるスケール訓練、ハミング、ハーモナイズ、フォニックスを使ったエクササイズ、クラップ／ストンプリズムエクササイズ、サイトシンギングなど。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
注意点		この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。学習したエクササイズを授業以外でもレギュラーペースで復習実践すること。反復練習が必須の授業になる為、日々のトレーニング、スキル向上への意識を高めることも授業内でクラスの仲間と話ある時間を作りながら進めていきますので、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価方法		種別		割合		備 考					
		試験・課題		30%		試験と課題を総合的に評価する					
		小テスト		10%		授業内容の理解度を確認するために実施する					
		レポート		20%		授業内容の理解度を確認するために実施する					
		成果発表 (口頭・実技)		30%		授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する					
		平常点		10%		積極的な授業参加度、授業態度によって評価する					
授業計画（1回～15回）											
回		授業内容				各回の到達目標					
1回		リズムトレーニングの実践アドバンス1				リズムパターンに合わせ体を動かし、歌えるようにする1					
2回		曲に合わせてクラップ、ストンプ				リズムパターンに合わせ体を動かし、歌えるようにする2					
3回		複雑なリズムで別々のパターンをクラップ、ストンプ				リズムパターンに合わせ体を動かし、歌えるようにする3					
4回		サイトシンギング視唱の実践アドバンス1				エクササイズを実践出来るようにする					
5回		リズム譜を読む				リズムを感じると同時に譜面を追えるようになる					
6回		譜面を視唱する				譜面の追い方を実践して見せる。そのコツを習得し、実践出来るようにする					
7回		様々なコード進行を聴きながらアドリブでメロディを歌う				アドリブをとるためのスケールを学び、実践につなげる					
8回		ベーシックなボイストレーニングエクササイズの再確認2				ボイストレーニングで学んだ事を活かして歌ってみる					
9回		12345678を使ったスケール音程トレーニング				正しいスケール音程をとれるようにする					
10回		音程や音階の声による実践アドバンス3				正しい音程を理解したうえで歌えるように強化					
11回		リズム譜制作				リズムパターンを制作し、歌えるようにする					
12回		シンガーとしてのわきまえ				プロのシンガーについての理解					
13回		総合的なパフォーマンスの実践アドバンス1				課題曲による発表会					
14回		総合的なパフォーマンスの実践アドバンス2				発表会での動画を確認し、個人の反省点を再確認する					
15回		自由曲を歌ってもらい、声の状態を総合的にチェックアップ				全体のまとめ					